

ウンカ情報第3号

平成25年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病虫害防除室

1 セジロウンカの発生状況

7月下旬の本田調査（粘着板による10株の払い落とし及び捕虫網による20回振り）では、県内全域の45ほ場（106ほ場調査）で成虫及び幼虫が捕獲されましたが、全体的には平年よりやや少ない発生状況でした（表）。

なお、県内各地に設置した予察灯の誘殺数は、平年よりやや少なく推移しています。

表 セジロウンカの本田生息状況（平成25年7月下旬調査 単位:頭）

| 調査方法 | 成虫 | 幼虫 | 計 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|
| 粘着板による10株の払い落とし | 0.35 (0.57) | 0.84 (2.26) | 1.19 (2.83) |
| 捕虫網による20回振り | 1.42 (1.66) | 0.92 (2.49) | 2.33 (4.15) |

注1) 県内 106ほ場での平均

注2) () 内は、平年値（平成15～24年の平均）

2 トビイロウンカの発生状況

7月下旬までの本田調査では、発生を認めていませんが、大口町の予察灯で6月28日に3頭誘殺されています。7月に入ってから、神奈川県や和歌山県など、九州、四国地域以外の予察灯でも誘殺されており、神奈川県海老名市では7月13日に50頭と大量に誘殺されています。今後の気象条件によっては、異常飛来して、普通期栽培で被害が発生する可能性があります（図）。予察灯の誘殺状況など今後の情報に注意してください。



図 トビイロウンカ被害による坪枯れ